

■インド・バングラデシュ：インド・バングラ間の送電線建設に向け、建設契約締結

2011年4月12日付現地紙によれば、バングラデシュ送電公社（PGCB）は、インド-バングラデシュ間 no 送電線（400kV、長さ約 40km）と変電所の建設について、スペインの Corba 社と 940 万ドル、ドイツ Siemens 社と 1.07 億ドルの契約を結んだ。これらの契約により、バングラデシュの Bheramara とインドとの国境沿いの Bangram を結ぶ送電線の建設が行われることになる。バングラデシュ政府は、この送電線を通じてインドから 2012 年末頃から 250MW、その後、500MW の電力を輸入することについて、2010 年 7 月 26 日に 35 年間の契約を締結した。また将来的には、バングラデシュからインドへ電力を輸出する可能性もある。バングラデシュ側の送電線の建設費は 1.49 億ドルで、アジア開発銀行（ADB）が 1 億ドルを出資している。今後数カ月以内に建設が始まり、2012 年までに完成する予定。この他に、両政府間では、400kV、長さ約 125km の送電線をバングラデシュの Bheramara からインドの Baharampur まで結ぶ合意が既に結ばれている。